

# 中央区立環境情報センター「平成30年度ecoワーク」 活動発表会に参加 2019.2.13

平成30年度 環境活動登録団体  
中央区立環境情報センター

## ecoワーク発表会

日時 2月13日(水) 14:00~17:00  
場所 環境情報センター研修室  
協力 環境活動登録団体

\*\*\*\*\*

### プログラム

すべてのプログラムの一部受講が可能です。

- 1. 開会式**
- 2. 活動発表**  
…登録団体が今年度力を入れた活動について発表します。  
全37団体(平成30年12月現在)のうち、代表して4団体が発表します。(登録順)
  - 『沖縄で考えた平和環境戦略』  
NPO法人 循環型社会研究会
  - 『オオカミと出会ったこどもたち』  
成蹊都市とオオカミ・研究会
  - 『温暖化の影響と感染症』  
(一社)環境エネルギーネット
  - 『バイオマスってなに?』  
(一社)日本有機資源協会
- 3. 交流会**  
…各登録団体が自己紹介し、環境活動に関する意見交換を行います。
- 4. 閉会式**

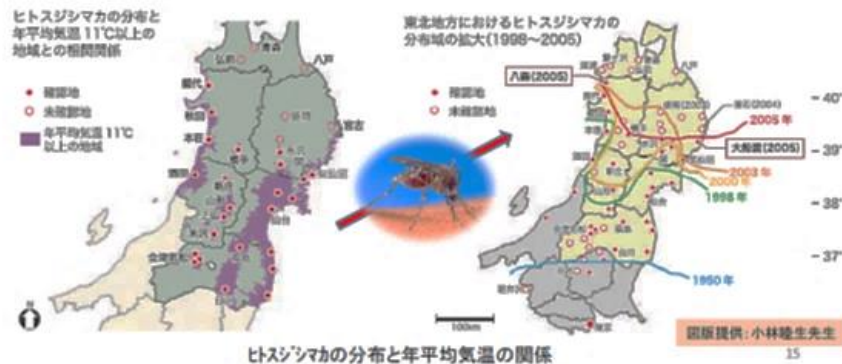
\*\*\*\*\*

発表順は環境情報センターホームページに公開します！(1月下旬)



## 感染症媒介蚊の生息区域が拡大している

ヒトスジシマカは、蚊媒介性ウイルス感染症の媒介生物として、最も重視されており、デング熱やチクングニア熱を媒介します。分布域は、年平均気温11℃以上の地域に生息しており、北限は東北地方北部にまで広がっています。21世紀末には、北海道東部および高標高地を除き広く日本各地で生息が可能になるとの予測があります。



2018年に視る気候変動を振り返り、今後予測される温暖化による感染症を主に、健康への影響について講和いたしました。

e2-net

一般社団法人 環境エネルギーネット

# どんな時に感染症にかかるのか？

地球温暖化は、さまざまな分野に大きな影響をもたらすおそれのある、地球規模の環境問題です。

いつ、どこで、どのような影響が生じるかについての詳細までは、現時点ですべて解っている訳ではありません。

しかし、世界の各地でさまざまな影響が生じ始めていることは、ほぼ間違いのないと思われます。感染症は、今でも重要な問題です。

対策技術などの制約ある途上国では勿論深刻な問題ですが、私たちの住む日本でも、まだまだ感染症はあなどれない問題です。

この感染症が、温暖化の影響でどう変化するか、はっきりと解ったときには「もう遅い」のかもしれない。

今からでも出来る対策を、毎日の暮らしの中で取入れていくことは、後悔することのない、有意義な取り組みです。

小さな積み重ねを、大きな視野の元で、できることからすぐ始めて、息長く続けること。

これは、できるだけ多くの人たちと一緒に、協力しながら進めていきましょう。

引用： 環境省地球温暖化対策室

